



北上川上流総合水防演習実施報告

5月21日(日)、一関市狐禅寺の磐井川左岸河川敷にて「令和5年度北上川上流総合水防演習」が開催されました。北上川上流15市町の水防団、消防団、警察、消防、自衛隊など約2200人が参加しました。当日は豪雨により氾濫危険水位に達した場合を想定し、巡視の手順、堤防決壊時の水防工法や負傷者の救助訓練などを実演しました。また同会場内では特殊車両の展示や、降雨体験装置などを展示する「防災展」も行われ、たくさんの来場者で賑わいました。

洪水対応訓練



シート張工・Tマット工：滝沢市



釜段工・改良釜段工：平泉町



月の輪工・改良月の輪工：一関市



積土のう工：西和賀町

各市町の水防団による水防工法の演習の様子です。水防工法とは、洪水時に堤防に亀裂や斜面の崩れなどが発生し、居住地側へ漏水等の危険がある場合に応急的に実施される作業のことです。

会場では第1中隊による決壊防止策のためのシート張工、第2、第3中隊による漏水防止のための釜段工と月の輪工、第4中隊による越水防止のための積土のう工が、迅速に行われました。

連携訓練



岩手県防災航空隊

岩手県警察、消防本部、陸上自衛隊、岩手県防災航空隊による救助訓練です。土砂に巻き込まれた人の救助を想定して、救助活動から、救急搬送までの訓練を行いました。



消防本部



岩手県警察



陸上自衛隊



岩手県警察

防災展

会場内に開設した防災展では、体験型の展示もあり、ご家族の見学で賑わっていました。「防災そばっち号」では震度6の地震が体験できました。また防災エキスパートによる縄結び講習も受けられ、家族みんなで防災知識を深めることができました。



防災そばっち号



排水ポンプ車展示



縄結び講習



降雨体験装置

もうすぐ、「出水期」という梅雨や台風により川が増水しやすくなる時期がやってきます。災害はいつどのように起こるか予測が付きません。もしもに備えて、防災グッズの見直し、ハザードマップ、避難場所の確認などできるところから防災を始めてみましょう。国土交通省では、下記サイトで防災、洪水情報を掲載しています。どうぞ参考としてご活用ください。

◆洪水から生命と財産を 水から自ら守る総合サイト

<https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/mizukaramamoru/suibo/index.html>

◆国土交通省 川の防災情報

<https://www.river.go.jp/index>



参加された実行委員会の皆様、ご協力頂きありがとうございました。また来場者の方々も見学に来て頂きありがとうございました。皆様の防災意識向上の一助になれば幸いです。



バックナンバーはこちら→https://www.thr.mlit.go.jp/iwate/syuttyoujyo/itinoseki/2023/2023_ichinoseki.htm

編集後記

災害対応とは各自治体をはじめ、大変多くの方々のご協力があるのだと痛感した、意義深い演習となりました。今一度、ご家族で避難場所や備蓄など、災害時の動きを確認しておきましょう。「こないだろう」と思っているときこそ、災害は突然発生します。(い)